

現地見学会 参加のご案内

第3弾

“賑わい”と“安心安全”を創出する
未来型公園プロジェクト



第4弾

自動配送ロボットの公道走行による
ラストワンマイル配送



実施日 2024年3月1日(金)14時～16時まで

- 内容
- あいちロボットトランスフォーメーション事業紹介(愛知県)
 - 第3弾「Hisaya-odori Parkが抱える課題を解決する実証実験」の説明
 - 施設課題の御紹介 ●参加ロボットベンダー*によるミニプレゼンテーション
 - ※ロボットを開発、製造または販売する事業者
 - 第4弾「自動配送ロボットの公道走行によるラストワンマイル配送」の説明
 - 実証実験の御紹介(中電ウイング株式会社・株式会社ZMP)
 - 実証実験見学

対象 サービスロボット導入に興味のある方

定員 40名(申込先着順) ※定員に達し次第締め切ります。
※参加申込多数の場合、1社・団体につき1名での参加をお願いする可能性があります。

参加費 無料

申込方法 右記の「申込ページ」へアクセスし、必要事項を入力してください。
申込完了後、当日の集合場所を別途ご連絡いたします。

申込期限 2024年2月26日(月)

※天候によっては、実施内容を変更する可能性があります。

▶ 申込ページはこちら



<https://forms.gle/9cNBoimELVbinqFL7>

AICHI ROBOT ARX TRANSFORMATION

あいちロボットトランスフォーメーション



2023年度 愛知県サービスロボット 実証実験見学会のご案内

ARX概要

愛知県では、「あいちロボットトランスフォーメーション(ARX)」と題し、
県内の様々な施設でサービスロボットの实証実験やデモンストレーションを実施することで、
サービスロボットの社会実装を促進する取組を実施しています。
2023年度の実証実験第3弾・第4弾の実施とその見学会が決定しましたので、ご案内します。



見学会を実施する実証実験

第3弾



ベンダーとベニューのマッチングを目的とした実証実験
“賑わい”と“安心安全”を
創出する
未来型公園プロジェクト

施設名 Hisaya-odori Park

実施期間 2024年2月27日(火)～3月2日(土)

第4弾



先進的サービスモデルの創出を目的とした実証実験
自動配送ロボットの
公道走行による
ラストワンマイル配送

実施場所 名古屋市中区栄地区内

実施期間 2024年2月29日(木)、2024年3月1日(金)

▶ 現地見学会の参加は、裏面をご確認ください。

Information

日本初開催の日欧共催産業イベント
「SMART MANUFACTURING SUMMIT BY GLOBAL INDUSTRIE」(SMS)にて
ARXセミナー2024を開催します



ARXセミナー2024

～自動配送ロボットによる公道走行の未来～

3月14日(木) 16:00～17:00

ARXにおける実証実験第4弾として取り組んだ「自動配送ロボットの公道走行によるラストワンマイル配送」を事例として、ロボットの専門家を交え、自動配送ロボットの今後についてディスカッションを行います。

株式会社シンク・コミュニケーションズ 代表取締役
大阪・関西万博会場運営プロデューサー
ARX事業プロデューサー

石川 勝氏

株式会社ZMP ロボタウンビジネス部
セールス&ビジネス開発 マネージャー

池田 慈氏

中電ウイング株式会社 いちご事業部

近藤 貴博氏

愛知県経済産業局次世代産業室 室長

江尻 和聡

ファシリテーター

インキュビオン株式会社 CEO

高橋 祥子氏

※SMS 愛知県パビリオン内のステージで開催します。
※ARXセミナー2024は当日先着順です。

SMSとは…

SMSは、欧州最大級の総合産業展示会「グローバル・インダストリー」の日本版として開催される、日本とヨーロッパを繋ぐ日本初上陸の新しい製造業向けイベントです。

会場

Aichi Sky Expo(愛知県国際展示場)

会期

2024年3月13日(水)～15日(金)の3日間

時間

10:00～18:00(最終日16:00終了)

ARXブースも出展します!

(参加ロボットの展示あり)※愛知県パビリオン内

SMSの来場者登録はこちら!

●公式ウェブサイト

<https://sms-gi.com/>



問い合わせ先

愛知県経済産業局産業部産業振興課 次世代産業室 ロボット産業グループ

電話 052-954-6352(ダイヤルイン) FAX 052-954-6943 メール jisedai@pref.aichi.lg.jp

受付時間 8:45～12:00、13:00～17:30(土日・祝日を除く)

詳細は右記の特設ウェブサイトからもご参照いただけます。 特設Webサイト 「あいちロボットトランスフォーメーション」 <https://aichirx.jp/>



第3弾 “賑わい”と“安心安全”を創出する未来型公園プロジェクト

Hisaya-odori Park 施設課題(検証内容)と参加ロボット

※ロボットによって実施期間が異なります。
すべてのロボットが同時に実施するのは
3月1日(金)、3月2日(土)です。

園内警備 警備品質、警備効率、抑止効果の向上

Secure Taurus (セキュア・トラス) 株式会社カンブリアン・プロジェクト

「セキュア・トラス」は、屋内外に対応する自律走行警備ロボットです。走行面では、6輪機構による安定した接地特性と5cmの段差を乗り越える走行性能を有しています。GNSS・ROS連携により、屋外駐車場や公園など特徴が少ない広大なエリアでも自律走行が可能です。警備機能面では、AIによる監視画像の分析や警備室からの遠隔操作がWeb画面からスムーズに行え、ローカル5Gにも対応しています。



3Dスキャナー搭載 自動走行ロボット バイトム株式会社× パーソルクロステクノロジー株式会社

自動巡回・警備ロボット。リアルタイム3Dマップ作成と人・物を検出するバイトムの3Dスキャナーを、パーソルクロステクノロジーがカスタマイズした自動走行ロボットへ搭載しました。3Dスキャナーは、人や物の数を無線で遠隔管理サーバーに送信でき、センサーやUVライトなどを追加することで搬送や除菌などにも活用できます。また、カメラを搭載していないため、プライバシーを守りながらの巡回・警備も可能です。



インフォメーション・案内 お困り事サポートによるお客様体験価値向上

Avatar robot for outdoor use (屋外対応アバターロボット) avatarin株式会社

「屋外対応アバターロボット」は、自由に動きながら会話ができるなどロボットが自分らしさを演出できるコミュニケーション型ロボットです。人との関わりが必要な接客サービスや案内業務など、人材が不足している幅広い業界のソリューション・サービスの提供を可能にします。



AdRobot (アドロボット)※商標登録申請中 株式会社スマートロボティクス

50インチの大型電子看板(サイネージ)が動き回るロボットです。ロボットが移動する場所に合わせてコンテンツを自動的に切り替えたり、人を見つけて近寄り対話型のコンテンツを表示することができるので、より多くの注目を集めることが可能です。また、通信機能を搭載しているため、遠隔でのコミュニケーションも可能です。



インフォメーション・案内

Kebbi Air (ケビーエア) 名古屋国際工科大学

店舗や教育現場など様々なシーンに対応できるAIコミュニケーションロボットです。6つのアレイマイクと人感センサーにより、ロボットの前に人が来るとロボットが自ら話しかけるなどの多彩なコミュニケーション機能をはじめ、12個のサーボモーターによる滑らかな動きや、タッチセンサーによるインタラクティブな対応も魅力です。



屋外清掃

GAUSIUM SWEEPER 111 (ガウシウム スーパー111) クリーンスタジオ株式会社

屋内外問わず使えるマルチスイーパーです。ホッパー(ゴミ箱)に重い物が溜まっても問題ありません。オートダンプ機能を標準搭載し、ゴミは自動で捨てます(捨てる場所には別途ゴミ箱などをご用意いただく必要あり)。100m LiDARを搭載していますが、より広い範囲を掃除する場合は、オプションで自己位置認識用のGPSを搭載することが可能です。



Outdoor cleaning robot: Hakuro-kun (屋外清掃ロボットはくろくん) トヨコーメタル株式会社×豊橋技術科学大学

市販の搭乗式清掃機を自動化することで屋外清掃ロボットを製作しました。この方法により、車体や清掃機構を新たに設計することなく、既に使用されている清掃機を低コストで自動化することができます。市販の清掃機の操作特性は不明であるため、GNSSを用いて特性を推定することで自動運転を可能にしました。あらかじめ指定された長方形のエリアを、障害物避けながら清掃します。



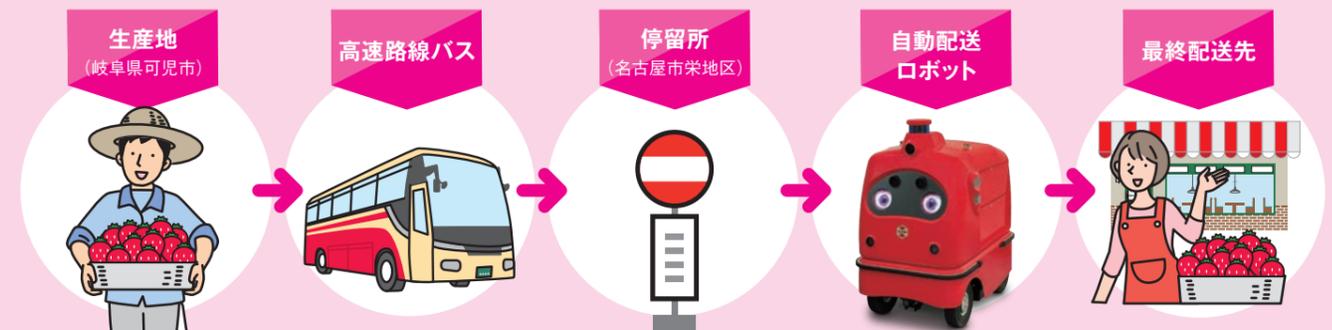
第4弾 自動配送ロボットの公道走行によるラストワンマイル配送

実験内容

貨客混載型の高速路線バスで名古屋市中区栄地区内のバス停留所まで輸送される「ウイングいちご※」を、自動配送ロボットが最終配送先まで届ける公道走行実験を実施します。
本実証実験を通じて、貨客混載型輸送の課題となっているラストワンマイル課題の解決と、自動配送ロボットの新たな活用方法の創出について検証します。

※中電ウイング株式会社が手掛けるブランドいちご

実施イメージ



1 岐阜県可児市で栽培される「ウイングいちご」を高速路線バスにて、名古屋市の停留所まで輸送

2 停留所にて「ウイングいちご」を自動配送ロボットへ詰め替え、最終配送先まで配送

自動配送ロボットの配送ルート



使用する自動配送ロボットと配送物



【配送物】「ウイングいちご」

【自動配送ロボット】DeliRo[®](デリロ)
株式会社ZMP

幅広い用途に応じて屋内外を自動走行できる配送ロボット。ビル管理システムなど、様々なシステムと連携することで、デリロがエレベーターを呼び出したり、注文にあわせて荷物の配送を行うことができる。歩行者の顔を認識し、走行中に笑顔で挨拶をするなど、かわいらしい表情をうかべるのも特徴の一つ。

実施体制

- 中電ウイング株式会社(実証実験主体)
- 株式会社ZMP(ロボット提供・運行)
- 東濃鉄道株式会社(高速路線バスの運行)
- 株式会社アップクオリティ(貨客混載事業「あいのり便」の提供)
- 株式会社丸栄フーズ(いちごの配送先)